

施策番号	1404		
施策名	生活しやすい社会環境の整備		
概要	ユニバーサルデザインを総合的に推進することにより、すべての人が個人として尊重され、その能力を最大限に発揮し、生活できる社会環境を整備する。		
担当局・部室	保健福祉局・保健福祉部	共管局・部室	都市計画局・建築指導部
上位政策	14 障害者福祉		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市みやこユニバーサルデザイン推進指針		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		年度	23年度	24年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	市民向け印刷物の情報保障配慮率(%)	-	b	43.3	49.3	50	98.6%	a	1.00
2	バリアフリー優良建築物の件数(件)	-	a	416	359	500	71.8%	e	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
			a	客観指標総合評価				c	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		24年度回答						有効回答 者数	評価
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも言 えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない			
1	バリアフリー（高齢者や障害のあるひとが社会生活をしていくうえでの障壁（バリア）を除去し、ハンディキャップなく生活できるようにすること）などの生活しやすい社会環境の整備が進み、くらしやすいまちになっている。	32	134	217	100	49	532	c	
		6.0%	25.2%	40.8%	18.8%	9.2%			
2	-							-	
3	-							-	
4	-							-	
5	-							-	
		市民生活実感調査総合評価						c	



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている					23 年度	B
	重み付け	☐ 客観指標	c	☒ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) ユニバーサルデザインの視点に基づく社会環境を整備することにより、全ての市民が生活しやすくなることが重要であり、その度合いを図る市民生活実感調査の方に重みを置く。						年度	—
(原因分析) ・市民向け印刷物の情報保障については、年度ごとに目標値を定めて取組の推進を図るものであり、平成23年度の目標値50%に対して、平成23年度の情報保障配慮率が49.3%となった結果、目標値の達成度が98.6%となりa評価となった。 ・平成23年度はバリアフリー対象建築物の協議件数は増加傾向にあるものの、工事に着手されなかったものが多くあり、検査済証交付件数が57件減少したためe評価となった。 ・市民生活実感調査については、「どちらとも言えない」との回答が4割を超えc評価となっており、バリアフリーやユニバーサルデザインに対する関心と理解を広げるよう中長期的な視点で取り組んでいく必要がある。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	みやこユニバーサルデザインの推進	27,246	29,336	普通	保健福祉局
2	生活保護適正化推進事業	870,397	950,302	—	保健福祉局
3	生活保護自立支援事業	1,366,323	1,534,337	かなり良い	保健福祉局
4	重度心身障害者医療費支給事業	2,247,546	2,293,718	かなり良い	保健福祉局
5	いきいきハウジングリフォーム（京都市 重度障害者住宅環境整備費助成事業）	42,073	45,969	良い	保健福祉局
6	重度障害者タクシー料金助成事業	224,230	234,017	かなり良い	保健福祉局
7	重度身体障害者緊急通報システム貸与事業	7,310	7,221	普通	保健福祉局
8	身体障害者福祉電話設置維持事業	3,243	3,070	普通	保健福祉局
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・みやこユニバーサルデザイン推進主任連絡会議の開催や職員研修を通じて、庁内の各事務事業におけるユニバーサルデザインの取組を一層推進し、市民向け印刷物の情報保障配慮をはじめとした生活しやすい社会環境を整備していく。
・また、人にやさしいサービス宣言、みやこユニバーサルデザイン賞、ユニバーサル上映補助、ユニバーサルデザイン消費者啓発等の取組や積極的な情報発信を通じて、広く市民にユニバーサルデザインが普及するよう努めていく。

施策名		1404		生活しやすい社会環境の整備					
指標名		市民向け印刷物の情報保障配慮率（％）							
(原田公)									
担当課		保健福祉総務課		連絡先		2 2 2－3 3 6 6			
1 指標の説明									
本市が発行する市民向けのパンフレット，リーフレット等における情報保障の配慮がされている割合									
2 指標の意味									
障害のある方も一般市民と同様に合理的な配慮がなされ，生活しやすい社会環境が整備されている進捗を示す指標									
3 算出方法・出典等									
算出方法：各局区等から10,000部以上発行している広報印刷物において，配色の工夫や外国語，点字版の作成等の対象者に応じた何らかの配慮を行った件数の割合（年度末に確認した実績に基づく。） 出典：事業担当課調べ									
4 数値									
	前回数値		最新数値		推移	目標値			
	22年度		23年度			数値	根拠	達成度	
数値	43.3		49.3		6%増加	50	平成27年度目標値を達成するために当年度達成すべき数値	98.6%	
	全国順位	中長期目標			備考				
	数値	目標年次	達成度	根拠					
数値	100	27年度	49.3%	各局区等から発行する10,000部以上の全ての広報印刷物において，何らかの情報保障の配慮を行う					
5 評価基準							7 評価結果		
6 基準説明								23	24
最新数値の目標値に対する達成状況が a：90%以上 b：70%以上～90%未満 c：50%以上～70%未満 d：30%以上～50%未満 e：30%未満 当該指標については，平成27年度目標値100%に向けて，目標値（平成23年度50%，24年度70%，25年度80%，26年度90%，27年度100%）を上昇させていくこととしており，当該目標値に対する達成状況について90%以上をaとし，以下20%刻みで基準を設定した。							-	b	a

指標名		バリアフリー優良建築物の件数（件）							
担当課		建築審査課		連絡先		2 2 2－3 6 1 6			
1 指標の説明									
バリアフリー化された建築物（施設）の件数									
2 指標の意味									
「ひとにやさしいまち」に向けた進み具合を示す指標									
3 算出方法・出典等									
算出方法：京都市建築物等のバリアフリーの促進に関する条例に基づく検査済証交付件数 出典：事業担当課調べ									
4 数値									
	前回数値		最新数値		推移	目標値			
	22年度		23年度			数値	根拠	達成度	
数値	416		359		57件減	500	過去の建築確認申請の動向等から，条例対象となる建築物を拡大した後の件数を推計	71.8%	
	全国順位	中長期目標			備考	21年度 376件 22年度 416件 23年度 359件 平均 384件			
	数値	目標年次	達成度	根拠					
数値	500	32年度	71.8%	過去の建築確認申請の動向等から，条例対象となる建築物を拡大した後の件数を推計					
5 評価基準							7 評価結果		
6 基準説明								23	24
最新数値と前回数値との比較 a：10件以上の増加 b：4件～9件の増加 c：3件の減少～3件の増加 d：4件～9件の減少 e：10件以上の減少 これまでのバリアフリー条例に基づく検査済証交付件数の推移を基に，評価基準を設定。							-	a	e